

# 2020年度事業報告書

特定非営利活動法人まち・コミュニケーション

## 【2020年度の活動の総括】

2020年度は、コロナ禍で講演依頼や研修受入が激減する中、当団体の事務所では新型コロナウイルス感染症対策として、非接触体温計やアクリルボード、アルコール消毒の設置や、間隔をとるための片付けをし、オンライン等を用いて活動を行うことができました。皆さまも大変な中、当団体を支えてくださり、まずは感謝申し上げます。

感染症対策をした上で、被災地支援を行い、東日本大震災、熊本地震、令和元年19号台風、令和2年7月豪雨の被災地を訪問し、被災者の生活再建や地域の復興まちづくりの支援・調査研究活動を行いました。

また、今年度から、オンラインを生かしながら、積極的に勉強会事業等を行いました。事務所のある神戸市だけでなく、広く全国から参加していただきました。

過去の震災復興まちづくり支援の経験から、災害が起こってからでは、対処が遅くなることを学びました。そこで、防災や事前復興まちづくりの重要性を伝えるための活動も行っています。講演活動や防災まちづくりに携わる仲間を増やしていこうと、伝える場づくり“被災地のつぶやき”のインターネット発信、勉強会の開催に加え、“災害への備え ～命・住まい・コミュニティー～”のインターネット配信もしています。

各事業について下記で報告させていただきます。

団体設立から25年を迎え、継続できています。多くの方々に支えられ、感謝いたします。来年度は、おかげさまで、任意団体設立から25年を迎えます。

## 【事業報告】

### まちづくり部門

#### ●被災地復興支援事業

被災地を訪問し、復興まちづくりや支援者への情報提供の活動を行いました。

##### ① 令和2年豪雨、熊本地震（熊本県・福岡県）

7月7日～9日、熊本市、芦北町、大牟田市等を、これまでの支援者のネットワークを生かし訪問しました。支援物資や水害後の復旧に役立つ書籍や掃除道具等を配布いたしました。これから被災地支援に取り組む学識経験者へ、災害後の生活再建について、これまでの知見をレクチャー致しました。

9月17日、18日、前回訪問できなかった球磨村、人吉市を訪問し、現状を把握するとともに、被災者の暮らしと住まいの再建に取り組むNPOや学識経験者へ、これまでの知見を

レクチャー致しました。

熊本地震を支援してきた団体とともに、熊本地震4年の今後の活動を考えてきました。そこで、共に熊本県南豪雨支援に関わることで、今後の復興まちづくり活動を模索しました。

(参考：季刊まち・コミ秋号に報告)

コロナ禍で現地に行く回数を減らし、現地の方々が報告するオンライン勉強会等や、現地の人との情報交換を行いました。

## ② 東日本大震災・2018年台風19号（宮城県、福島県）

### 第1回訪問

2月22日～26日、東日本大震災の被災地（宮城県）を訪問しました。

復興まちづくりやその後の地域づくりを支えるNPO団体等を訪問し、東日本大震災から10年をむかえる被災地でどのように活動をしていくのかを情報交換を行いました。復興まちづくりに詳しい学識経験者も同行していただきました。

### 第2回訪問

7月10日～17日

気仙沼と石巻市の被災地の復興まちづくりに取り組む団体の振り返りや、今後の対応について会議への参加や相談にのりました。

台風19号関連では、宮城県丸森町を訪問し、地元を支援する団体の相談やファシリテーションを行いました。当団体副代表理事の野崎氏にアドバイスをいただきました。

### 第3回訪問

8月8日～10日、

石巻市の復興まちづくりに取り組む団体の振り返りや、今後の対応について会議への参加や相談にのりました。その後、同じように、宮城県丸森町、福島県いわき市で、被災者支援をする団体と現状を確認するとともに、今後のまちづくりについて意見交換を行い、情報提供をいたしました。

### 第4回訪問

10月27日、28日、石巻市の復興まちづくりに取り組む団体の振り返りや、今後の対応について会議への参加や相談にのりました。コロナ禍での住民参加への方法について相談にのり、情報提供を行いました。

## ③ 西日本豪雨

現地への訪問が叶わず、オンライン勉強会等で情報交換をしました。

## ④ 台風15号（2019年）（千葉県）

8月10日に、千葉県房総半島を訪問しました。1年を経た今でも、屋根や家の補修ができず、ビニルシートが目立つ地区もありました。鋸南町の社会福祉協議会にて、被災した鋸南町在住の有志が主体となり、同町の復興のために活動する団体『鋸南復興アクセラレーション』から現地の状況を教えていただき、こちらからは、過去の事例の紹介等、意見交換をさせていただきました。

## ⑤ 鳥取県中部地震、鳥取県西部地震（鳥取県）

9月1日～5日に訪問し、被災者一人ひとりに寄り添う災害ケースマネジメントが実施されており、現状を把握すると共に、意見交換を行いました。また、オンラインを通じて、鳥取県中部地震5年に向けた災害ケースマネジメントの研究会に参加させていただき、意見交換を行いました。鳥取西部地震20年の日野町等を訪問させていただき、日頃の防災まちづくりについて、意見交換を行いました。



▲7月12日丸森町ワークショップ



▲10月28日丸森町住民組織訪問

## ●地域まちづくり支援事業

神戸市長田区御蔵地区において、阪神・淡路大震災の慰霊法要の開催支援を行いました。地区の建物の再建状況調査を行い、調査結果を「季刊まち・コミ」冬号でご報告しました。

ボランティア活動を継続運営していくために、まち・コミへ相談に来られる方がおられます。そこで、当団体で培った小さな団体が活動を必要なノウハウを伝え、相談にのりました。

## ①事前復興まちづくり

2016年度より、災害が起こってから初めてスタートさせる復興まちづくりでは限界があると確信し、事前復興まちづくりへも取り組みを始めました。

日本各地へ講師として出向き、備えの大切さや、災害後の地域づくりのポイントを伝えてきました。

今年度は、大阪府千成地区の防災マップづくり等のアドバイス・支援を行いました。

## 【まちづくり研究調査事業】

ひょうごボランティアプラザの中間支援活動の支援により、各種NPO法人や市民団体の相談にのりながら、活動の評価し、持続性を考えました。日本NPOセンターから出版される『これならできる！事業評価ワークブック ～NPO活動を豊かにするための評価の旅～』にも執筆致しました。

大学生や学識経験者を、現地（神戸市、兵庫県）で受け入れました。コロナ禍により遠隔になりましたが、様々な被災地への調査・視察コーディネートや支援を行いました。阪神・淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等、復興まちづくりの現場で行われていることを知っていただく機会となりました。

関東都市学会からニュース及び年報の発送作業と会費請求作業を受託し、2月、4月、8月、11月に発送。6月には、年報の発送も行いました。

## 学びの場づくり部門

### 【震災体験学習事業】

2020年度は、震災体験学習の実施はありませんでした。

### 【研修受入事業】

下記のとおり、5件の研修を受け入れました。兵庫県にて、被災地の現状と復興まちづくりについて伝えました。視察者の防災力向上を目指して視察を受け入れています。

#### <2020年度研修受け入れ状況>

日	受講者（主催者）	テーマ・目的	人数
1/16	語り部（公益社団法人みらいサポート石巻）	語り部活動について	10
2/4	語り部（熊本益城町）	語り部の交流	10
6/26	関西大学 留学生（英語受入）	都市の脆弱性フィールドワーク	2
7/29	関西大学社会安全学部 災害復興研究室	都市災害とまちづくり～阪神・淡路大震災24年の経験から～	13
12/10	京都府立大学	国内における近年の災害被災現場の被災者支援、地域復興支援の課題、災害ケースマネジメントの実践	5



▲語り部受入（公益社団法人みらいサポート石巻） ▲感染症対策をした受入

### 【講師派遣事業】

講演等主催者の依頼に応じ、下記のとおり15件の講師派遣をいたしました。防災や復興まちづくりの大切さを伝えています。

<2020 年度 講師・パネリスト 派遣実績>

日	主催者（場所）	講演テーマ	講師等	受講者数
1/8	関西大学	統計的調査実施事例の総合的検討 ～阪神・淡路大震災から25年の復興まちづくりの経験から～	宮定	40
1/17	徳島大学	僕たちでもできる防災に向けて（オンライン）	宮定	30
1/26	レジリ学園関西校	地域に根ざした防災・減災	宮定	30
2/12	神戸新聞	まちづくりにこだわって 被災地に関わり続けた視点から学んだこと	宮定	40
2/15	自尊他尊舎	災害からの復興で経験した共助	宮定	20
2/28	福島大学	困った時はお互い様の地域間支援を実現するイタリアの災害対応から学んだこと	宮定	50
7/21	龍谷大学大学院	都市防災・危機管理研究オンライン講演 阪神・淡路大震災からの復興と教訓～被災者の生活再建・復興まちづくり支援の経験から～	宮定	5
7/22	311 支援集会	コロナ禍の被災地を回って 熊本豪雨（2020年）・熊本地震（2016年）、東日本大震災（2011年）、台風19号（2019年）	宮定	30
8/28	兵庫県立大学	令和2年7月豪雨へのまち・コミの対応	宮定	30
9/19	下知地区減災連絡会（高知県高知市）	復興まちづくりから事前復興まちづくりへ	宮定	30
9/25	かつぼう そなえチャオ！ - かつしか FM 電話出演	防災とまちづくり	宮定	—
11/28	NPO ふたば ふたば学舎	過去の事例と知っ得情報、知っておきたい生活再建支援制度、生活再建カードゲーム	宮定	20
11/29	丹波市地域づくり大学	地域で取り組む“支え支えられ”の防災	宮定	10
12/9	公益財団法人ひょうごコミュニティ財団	認定NPO法人事務局の実際って？	戸田	11

12/26	ひょうごラジオカレッジ（兵庫県高齢者放送大学ラジオ講座）	新しいことを受け入れる心が、防災力を高める！～阪神・淡路大震災26年をむかえて～	宮定	2000
-------	------------------------------	--	----	------



▲高知県高知市下知地区



▲認定 NPO の運営について(ひょうごコミュニティ財団)

### ●まちづくり勉強会事業

震災復興まちづくりの教訓や経験を、今後の災害に活かそうと、様々な災害復興に関わる方々に講師としてお招きし計2回の御蔵学校を開催しました。地元の NPO 法人ふたば学舎と連携し、神戸市の地元住民向けの勉強会も行いました。

さらに、オンライン勉強会を3回行いました。全国の皆さんが参加してくださいました。録画し、再度視聴できるようにしました。学生等には、無料で公開して、学びの場を提供しています。（※オンライン勉強会は、季刊まち・コミ冬号に詳細報告）

#### <2020 年度御蔵学校 開催実績>

日	内容	テーマ	講師	受講者数
1/17	第 58 回 御蔵学校	被災者の尊厳を守る	室崎益輝氏（兵庫県立大学 減災復興政策研究科科長）、 遠藤勝裕氏（元日本銀行神 戸支店長）、瀬尾征男氏（元・ 東京海上火災神戸支店長）	60
2/9	第 59 回 御蔵学校	被災者の尊厳を守る（災害 ケースマネジメント、復興 まちづくり支援の 思想と プランニング）	津久井進氏（弁護士・日本 弁護士連合会災害復興支援 委員会委員長）、野崎隆一氏 （神戸まちづくり研究所理 事長）	30
7/26	オンライ ン勉強会	【緊急報告】豪雨水害の被 災地から ～熊本県球磨 川流域の状況～	柴田祐氏（教授／熊本県立 大学 環境共生学部）	72
10/4	オンライ ン勉強会	台風 19 号から 1 年 宮城 県丸森町の被災者は今～生	菅野由香理氏（地域支援団 体 Connect Feelings 代	33

		活再建支援から見える被災者の機微～	表)	
12/13	オンライン勉強会	令和2年7月豪雨の被災地の現状と課題～福岡県大牟田市・久留米市に関わる外部支援者の立場から～	江崎太郎氏（特定非営利活動法人YNF代表理事）、津久井進氏（弁護士・日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長）	40

## 交流の場づくり部門

### ●地域間交流事業

野菜作りを通じ、「鳥居やすらぎ市民農園」や地元の非営利組織「暮らしの学校の～ら」の方々と交流をしました。助けていただくことも多く、地元の方々や購入してくださる応援団に支えられながら、継続できました。今年度も、のべ50名近くの学生と社会人のボランティアの協力を得て、たくさんのたまねぎ、じゃがいも、黒豆をつくりました。

農作業支援、購入支援ボランティアの皆さまには、支えて頂きほんとうに感謝致します。ここまで続けることができました。本当に感謝致します。

季刊まち・コミ秋号に『コミュニティ再生に向けて取り組んだ15年～2004年台風23号で被害を受けた鳥居地区（兵庫県豊岡市出石町）での活動～』を報告し、2020年度で、農作業による活動は一区切りですが、今後は、防災まちづくり・現地での収穫祭等、都市と農村の交流等で、ご一緒させていただければと思っています。



▲6月13日：たまねぎ収穫



▲10月17日：黒豆収穫

### ●国際交流事業

4月に台湾集集地震（1999年9月21日）・八八水害（2009年8月6日）の被災地交流を企画していましたが、残念ながら、中止といたしました。

### ●情報発信部門

下記の各事業のほか、積極的に、人が集う場に参加し、被災地の復興まちづくりやまち・コミの活動について発信しました。また、マスコミや各種団体の取材にも対応しました。

## 【情報発信事業】

### ① 季刊まち・コミ

4号、各号6ページの通信誌を発行しました。会員や寄付者のほか、事務所の来客等に配布いたしました。

#### <2020年度季刊まち・コミ一覧>

号	発行日	特集タイトル	郵送数
春号	3/17	2019年度 活動のご報告	616
夏号	5/27	コミュニティ再生に向けて取り組んだ15年 ～2004年台風23号で被害を受けた鳥居地区（兵庫県豊岡市出石町）での活動～	477
秋号	9/23	令和2年7月豪雨視察報告 ～熊本県球磨川流域を中心に～	404
冬号	11/24	被災地の今を知り、災害に備えよう ～コロナ禍の被災地は、今どうなっているか？～	363

### ② WEBまち・コミ <http://park15.wakwak.com/~m-comi/>

「季刊まち・コミ」のPDFデータ版、2019年度活動報告、2019年度計算書類等、新規情報をアップしました。

### ③ まち・コミブログ・フェイスブック

日々の活動を中心に、活動を報告しています。2020年度はフェイスブックを中心に、日々の活動の記事を約45本アップしました。

### ④ まち・コミメールニュース

7通のメールニュースを送信しました。

ニュース以外にも“テーマ毎（勉強会・講演会）に興味のありそうな方”、“開催場所に近い方”、“学生を誘ってくださる先生”等、対象を絞って情報発信しました。

### ⑤ 被災地のつぶやき

インターネットで、被災者の声を毎日発信している。Twitterのフォロワー数は約2350です。フェイスブックのいいね!の人数は、約1860人になっています。

### ⑥ 災害への備え ～命・住まい・コミュニティー～

インターネットで、防災に役立つ情報を毎日発信している。Twitterのフォロワー数は、約570です。

#### <2020年度メールニュース一覧>

送信日	内容	送信数
2/4・5・6	勉強会の参加者募集と動画配信開始 ほか	5827



5/16・18・19	「たまねぎ購入応援者募集」「勉強会動画配信のご案内」ほか	5896
6/20・22・23	じゃがいも・枝豆購入応援者募集、季刊まち・コミ WEB アップほか	5887
7/22・23・24	オンライン勉強会「豪雨水害の被災地から～熊本県球磨川流域の状況～」開催（7/26 19時から）	5919
7/28・29・31	豪雨水害の被災地から ～熊本県球磨川流域の状況～（一般有料・学生無料）	5916
9/27・29・30	黒大豆の枝豆購入による応援者、オンライン勉強会の参加者募集	5966
12/2・3・6	勉強会の参加者募集と、ふるさと納税のお願い ほか	5977

## 【事業実施体制】

### (1) 会議に関する事項

#### ①通常総会

開催日 令和2年2月9日 午前11時30分から午前11時40分

開催場所 兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101(当法人事務所)

出席者 13名(うち表決委任者7名)

議事内容 第1号議案 2019年度事業報告および2019年度決算報告承認の件  
第2号議案 役員選任の件

#### ②理事会

##### 第1回

開催日 令和2年2月9日 午前10時00分から午前11時30分

開催場所 兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101(当法人事務所)

出席者 7名(うち表決委任者4名)

議事内容 第1号議案 2019年度事業報告および2019年度決算報告承認の件  
第2号議案 2020年度事業計画および2020年度活動予算承認の件

##### 第2回

開催日 令和2年2月9日 午前11時40分から午前11時45分

開催場所 兵庫県神戸市長田区御蔵通5丁目211-4号-101(当法人事務所)

出席者 7名(うち表決委任者3名)

議事内容 代表理事及び副代表理事選任の件

③事務局会議 月1回 出席者：宮定章、田中保三、戸田真由美

### (2) 事務局体制

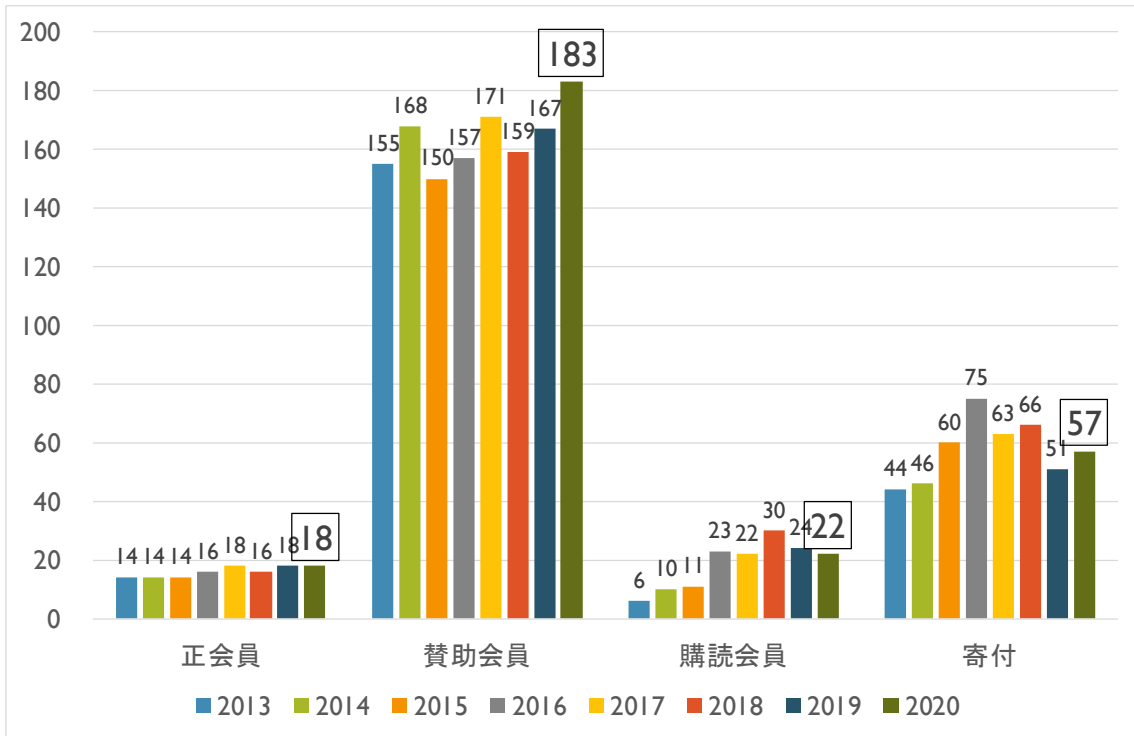
代表理事 宮定章                      理事 戸田真由美

### (3) 会員

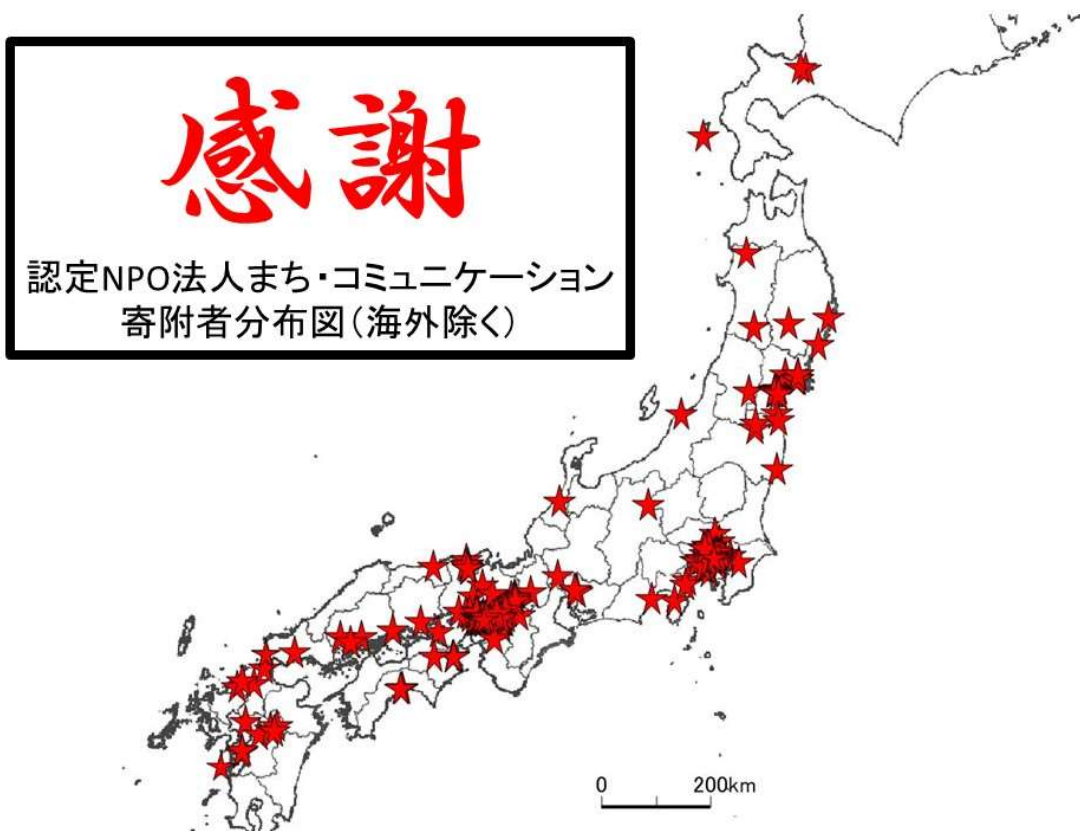
① 正会員 18名

② 賛助会員 183名

③ 購読会員 22名



▲ 会員・寄付者数の推移



▲ 寄付額（賛助会費＋寄付）の分布図

## 【資料】

### ●新聞掲載記事

1. 個々の声拾い生活再建 つなぐ阪神大震災 25 年 認定 NPO 法人まち・コミュニケーション代表理事宮定章さん（河北新報 2020 年 1 月 14 日）
2. 被災者の 7 割地元戻れず 神戸・長田御菅西地区 大半倒壊、焼失 復興住宅整備に遅れ（神戸新聞 2020 年 1 月 16 日）
3. 住民散り散り再建の壁に まちづくりの苦闘（神戸新聞 2020 年 2 月 8 日）
4. 阪神・淡路大震災 25 年 災間を生きる 震災人脈 つながり再生 対立と融和 主人公は住民 知恵出し合う（神戸新聞 2020 年 2 月 8 日）
5. 農作業支援 15 年に幕 台風被災の市民農園で活動、神戸の NPO 出石・鳥居地域のにぎわいづくり尽力（神戸新聞 2020 年 6 月 18 日）
6. 街の支援「阪神」に学ぶ 防災の日 鳥大で講義（朝日新聞 2020 年 9 月 2 日）
7. 農業通じた復興支援終了 16 年間で 3000 人参加「交流続けたい」 出石・鳥居地区台風 23 号被災地でボランティア活動 神戸・長田の NPO 法人（神戸新聞 2020 年 10 月 22 日）